

クリエイターの会員組織設立 仕事の「地産地消」目指す

つやま産業支援センター

津山市の外郭団体・つやま産業支援センターは、10月31日、主に同市内に事業拠点を持つクリエイターの会員組織「津山クリエイティブ人材ネットワーク(C's net)」を立ち上げた。

デザイナー、ライター、イラストレーター、WEBディレクター、フォトグラファー、映像制作業者などが会員。製品開発やブランディングなどで力を借りたい地元企業向けにホームページなどで情報提供し、地元のクリエイターへの依頼を促す。また、ク

リエーター同士のつながりづくりや外部講師を招いたセミナーなども開き、会員のスキルアップも図る。

ホームページから直接仕事を依頼できるほか、1つの案件にさまざまなクリエイターが連携する必要がある場合などは、事務局の同センターがマッチングする。

これまで大阪や東京、岡山などのクリエイターに依頼していた地元企業が多く、同センターは「クリエイティブ業務の地産地消につなげたい」と意気込んでいる。



会員が集結した初日の勉強会

当日には津山の工芸品をテーマにアイデアを出し合う勉強会も開いた。

会員は随時募集中。初回登録料2000円。年会費は法人が1万円、個人が3000円で、いずれも同センター賛助会員は無料。詳しくはホームページ(<https://tsuyama-biz.jp/csnet/>)へ。

津山商工会議所、日本公庫

事業承継支援で連携覚書 相互のネットワーク活用



覚書に調印した松田会頭(右)と佐藤支店長

津山商工会議所(松田欣也会頭)と(株)日本政策金融公庫津山支店(佐藤文昭支店長)は10月20日、後継者不足による廃業を抑えるため、事業承継支援に関する連携覚書を締結した。

同公庫の全国ネットワークを活用しマッチング。同公庫は、同会議所が経営相談などで蓄積した情報などを活用し精度を高める。

締結式では、松田会頭が「連携をさらに深め、地域経済の維持につなげたい」と期待を述べた。

同公庫は、県商工会連合会のほか、倉敷や総社などの会議所とも同様の覚書を締結している。

温泉でアート楽しんで 美作三湯芸術温度2022

岡山県

湯原、奥津、湯郷温泉の旅館・ホテルでアートを展示するイベント「美作三湯芸術温度2022」(岡山県主催)が12月4日まで開かれている。

美作地域の観光誘客や文化振興につなげようと、県が3年に一度実施しているもので、今年で3回目。県内外のアーティスト26人による絵画や彫刻、人形などの作品を、宿泊施設25カ所のロビーや中庭などに展示している。

作品集などがもらえるスタンプラリーも実施中。詳しくはホームページ(<https://www.pref.okayama.jp/site/art/list500.html>)へ。

真庭観光局

タクシー運賃を半額助成 高速バス・JR利用の宿泊者

(一社)真庭観光局は、来年3月末まで、高速バス・JRを利用して真庭地域を訪れた宿泊者のタクシー運賃を助成するキャンペーンを実施している。

真庭市・真庭郡新庄村内の宿泊施設を発着するタクシー(ジャンボタクシー含む)の運賃を半額助成(助成額上限3万円)する。利用前日までに対象のタクシー会社への予約が必要。運賃は当日精算する。

問い合わせは同観光局(電話0867-45-7111)へ。

わがまちの経済団体

~津山ステンレス・ メタルクラスター~

代表者 岩佐健司会長

(国立津山高等学校長)

会員数 42社

概要 津山圏域のステンレス、金属加工業者で組織する団体。行政や国立津山高専などとも連携し、技術開発や新商品開発、市場開拓、技術者育成などに取り組んでいる。

重点施策 板金、機械、鋳造などの分野の垣根を超えて加工技術の向上を目指しており、全国トップレベルの技術者を講師に迎え、最先端技術を学ぶ研修会「メタル交流会」を定期的に開催している。



岩佐健司会長

事務局 津山市山北663

(つやま産業支援センター内)

電話 0868-24-0740

URL <https://tsuyama-biz.jp/s-m-cluster/>

エヴァホール

クリエイターの会員組織設立 仕事の「地産地消」を目指す

つやま産業支援センター

津山市の外郭団体・つやま産業支援センターは、10月31日、主に同市内に事業拠点を持つクリエイターの会員組織「津山クリエイティブ人材ネットワーク(C's net)」を立ち上げた。

デザイナー、ライター、イラストレーター、WEBディレクター、フォトグラファー、映像制作業者などが会員。製品開発やブランディングなどで力を借りたい地元企業向けにホームページなどで情報提供し、地元のクリエイターへの依頼を促す。また、ク

リエーター同士のつながりづくりや外部講師を招いたセミナーなども開き、会員のスキルアップも図る。

ホームページから直接仕事を依頼できるほか、1つの案件にさまざまなクリエイターが連携する必要がある場合などは、事務局の同センターがマッチングする。

これまで大阪や東京、岡山などのクリエイターに依頼していた地元企業が多く、同センターは「クリエイティブ業務の地産地消につなげたい」と意気込んでいる。



会員が集結した初日の勉強会

当日には津山の工艺品をテーマにアイデアを出し合う勉強会も開いた。

会員は随時募集中。初回登録料2000円。年会費は法人が1万円、個人が3000円で、いずれも同センター賛助会員は無料。詳しくはホームページ(<https://tsuyama-biz.jp/csnet/>)へ。

問い合わせは同観光局(電話0867-45-7111)へ。

津山商工会議所、日本公庫 事業承継支援で連携覚書 相互のネットワーク活用



覚書に調印した松田会頭(右)と佐藤支店長

津山商工会議所(松田欣也会頭)と(株)日本政策金融公庫津山支店(佐藤文昭支店長)は10月20日、後継者不足による廃業を抑えるため、事業承継支援に関する連携覚書を締結した。

同公庫の全国ネットワークを活用しマッチング。同公庫は、同会議所が経営相談などで蓄積した情報などを活用し精度を高める。

締結式では、松田会頭が「連携をさらに深め、地域経済の維持につなげたい」と期待を述べた。

同公庫は、県商工会連合会のほか、倉敷や総社などの会議所とも同様の覚書を締結している。

エヴァホール

温泉でアート楽しんで 美作三湯芸術温度2022

岡山県

湯原、奥津、湯郷温泉の旅館・ホテルでアートを展示するイベント「美作三湯芸術温度2022」(岡山県主催)が12月4日まで開かれている。

美作地域の観光誘客や文化振興につなげようと、県が3年に一度実施しているもので、今年で3回目。県内外のアーティスト26人による絵画や彫刻、人形などの作品を、宿泊施設25カ所のロビーや中庭などに展示している。

作品集などがもらえるスタンプラリーも実施中。詳しくはホームページ(<https://www.pref.okayama.jp/site/art/list500.html>)へ。

真庭観光局

タクシー運賃を半額助成 高速バス・JR利用の宿泊者

(一社)真庭観光局は、来年3月末まで、高速バス・JRを利用して真庭地域を訪れた宿泊者のタクシー運賃を助成するキャンペーンを実施している。

真庭市・真庭郡新庄村内の宿泊施設を発着するタクシー(ジャンボタクシー含む)の運賃を半額助成(助成額上限3万円)する。利用前日までに対象のタクシー会社への予約が必要。運賃は当日精算する。

わがまちの経済団体

～津山ステンレス・ メタルクラスター～

代表者 岩佐健司会長
(国立津山高専校長)

会員数 42社

概要 津山圏域のステンレス、金属加工業者で組織する団体。行政や国立津山高専などとも連携し、技術開発や新商品開発、市場開拓、技術者育成などに取り組んでいる。

重点施策 板金、機械、鍛造などの分野の垣根を超えて加工技術の向上を目指しており、全国トップレベルの技術者を講師に迎え、最先端技術を学ぶ研修会「メタル交流会」を定期的に開催している。



岩佐健司会長

事務局 津山市山北663
(つやま産業支援センター内)
電話 0868-24-0740
URL <https://tsuyama-biz.jp/s-m-cluster/>

末田工業所 実用性追求の二つ折り財布 純国産の牛革のみ使用

ハンドバッグなどの製造販売の(有)末田工業所(津山市川崎541、末田平社長、資本金1000万円)はこのほど、使いやすさを追求した二つ折り財布「TAIRA」を商品化した。

裏地を使わず、バッグに使う純国産の牛革「ロロマ」のみで仕上げた。コンパクトなサイズと使いやすさを両立させるため、財布を持ち替えることなく紙幣や硬貨、カードを取り出せるよう配置を工夫した。

バッグはコロナ禍の外出自粛による影響が大きく、日常的に使ってもらえる小物商品

の展開で補完しようと、40年にわたるバッグ製造で培った革加工のノウハウを生かし約半年かけ開発した。

ブラウンやブラックなど5色展開し、価格は1万3585円。

クラウドファンディング「Makuake」で先行販売した後、ECサイトなどで販売する予定。同社は1962年設立。東京のセレクト



財布をアピールする末田社長

805 スローライフ SLOW LIFE ~午後4時の窓辺から~

岡山大学学長、槇野博史君

今年1月ごろ右上の奥歯が原因で副鼻腔にまで炎症が広がって大変なことになりました。かかりつけの歯科医さんで抜歯してもらったところ炎症は劇的に改善したのですが、その後のインプラント処置は大学病院にお願いした方がいいということで、岡山大学病院のインプラント科を紹介していただきました。

担当のK教授は気さくな方で腰が低く、小説「白い巨塔」の財前教授とは正反対、私のおしゃべりにもちゃんと応じてくださいます。それをいいことに、最初の診察のとき、年齢を聞かれた際に、「74歳です。学長の槇野君と同じ年です」と、それとなく(えっ、見え見えですか?)槇野学長と親しいことをアピール。我ながら本当にいいな性格です。

「学長とお知り合いですか?」

待ってました、そう来なくちゃ。「中学校時代の幼なじみなんです。あさってはコロナ以来初めての飲み会があって久しぶりに会う予定です」。K教授は「驚きましたねえ、学長先生のお友達ですか」と相づちを打ってくれました。謹厳実直な先生なら「それが何か?」と返されても仕方ない場面です。

実は中学校時代の3年間、1学年5クラスあったのですが、槇野君とは同じクラスになったことはなく、いっしょに遊んだり勉強したりするような仲ではありませんでした。高校、大学も別々。ただ大人になってから同窓会や同期のメンバーで作っているメーリングリストを通じて交際してきたというのが実状です。

槇野君は高校時代に当時としては日本の高校生がアメリカに留学できるほとんど唯一の機会だったAFSの選考試験に合格し、アメリカの地方都市で1年間を過ごした経験をお持ちです。岡山県全体でも1学年に2、3人の超難関試験だったと思います。私が通っていた高校にもAFS留学帰りの女子生徒がいましたが、帰国直後は日本語を忘れていましたね。若いときの経験は一生の宝物です。

その後、彼は岡山大学医学部に進学、卒業後も母校に残り、教授、附属病院長、学長と順調に出世し、また専門の腎臓疾患の権威として学会でも重責を担っておられるようです。

「来年の春、カナダの親戚が来るので、彼らを連れて大学訪問してもいい?」と尋ねたら「学長の任期は3月末までなので、来るのならそれまでに来てね」とのことでした。(康)

ショップなどに卸すバッグのOEM生産を手掛けてきたが、安価な輸入品との競合による危機感から2017年に自社ブランド「KOROKU」を展開している。

岡山県貨物運送

EVトラック導入 社内外へ普及の意思示す

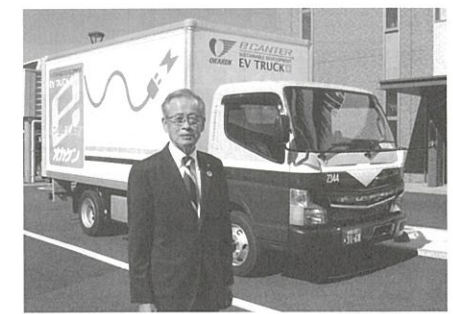
岡山県貨物運送(岡山市北区清心町4-31、原田和充社長、資本金24億2060万円)は、10月28日、来年4月の創業80周年へ向けた事業としてEVトラック1台を導入した。脱炭素化に向けた姿勢を社内外へ示す。

導入したのは世界で初めて量産化した小型EVトラック「e-CANTER」(三菱ふそうトラック・バス(株))。走行可能距離が約100kmのため、近隣配送の多い倉敷主管支店に配属した。ボディカラーは70周年を記念し子会社のマルケー自動車整備(岡山市)で1990年まで36年間使用された青、白、黄の配色を復刻。懐かしい姿でアピール度向上も期待する。

CO₂削減に貢献するほか、騒音なども低減できるという。リース契約。今後のEV車両導入については、オイルやフィルターの交換の必要がなく故障が減るなど整備面でメリットが期待できるものの、走行距離に難があるため、性能向上を待つ考え。

当日は、同社で納車式を実施。三菱ふそうトラック・バスの砥上健司営業推進部長からマスコットキーを受け取った原田社長は、「国内のCO₂排出量のうち約3.8%を排出する貨物自動車運送事業者として、またSDGsに取り組む企業として、啓発に役立てたい」と話した。

県内の同EVトラックの導入は両備ホールディングス(株)に続き2台目。



EVトラックと原田社長

トマト銀行 アプリ

ポイント
point1

残高照会・
入出金明細照会・
定期預金明細照会が
スマホでできます



ポイント
point2

トマト・スマート通帳

他の金融機関口座、クレジットカード
電子マネーなどをスマートに
一括管理できます

ポイント
point4

店舗/ATM検索や
各種サービスへの
ログインができます

ポイント
point3

スマホから
各種手続き・申込み

「トマト・通帳レス口座」への切替
住所変更、各種WEB完結ローン
のお申込みができます



「トマト銀行アプリ」の
ダウンロードはこちらから

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



お問い合わせ先
トマト銀行 お客さまサポートセンター

0120-992-996
<https://www.tomatobank.co.jp>

受付時間 平日 9:00~17:30
※土・日・祝日・休日、
12/31~1/3を除く

2022.11

にんげん大好き トマト銀行

Weekly

VISION OKAYAMA

岡山を元気にする経済情報誌

2022年11月14日発行 第58巻 第38号 通巻第2202号

発行兼編集人 大森 昭伸

発行所 (株)瀬戸内海経済レポート

〒700-0964 岡山市北区中仙道2-9-32 TEL.(086)805-6188(代)



県内のものづくり企業の新技术・製品を集めた「おokayamaテクノロジーズ展 (OTEX) 2022」

相続・事業承継特集

承継支援の対象が中小にシフト

コロナ返済、物価高、後継者不在の3重苦を救え

県下金融機関の事業承継支援の対象が地元の中堅から中小・小規模事業者者にシフトしている。分かりやすくマニュアル化した支援商品を投入したほか、コロナ資金返済、物価高などで苦しむ事業者への新たなスキームづくりなどに注力。中小企業の事業承継のハードルが下がりつつある。

マリプロフト
メタバースで発信・採用・商談強化
天満屋トラベル
プライベートジェット旅行販売

キッカワグループ
エビの陸上養殖に本格参入
Waistline Group
中高年女性限定フィットネス開業

年間購読料 26,400円(税・送料込)

2022 No.2202

11.14

visionokayama.jp